

授業科目	* 老年看護学演習				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU21317J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	溝部 昌子、吉原 悦子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>高齢者を取り巻く環境、心身の加齢性変化など老年看護学の基礎知識に基づき、治療、リハビリテーション、療養など様々な回復過程にある事例患者の看護過程の展開を通して、高齢者特有の看護問題と看護ケアについて学ぶ。実習室において、高齢者特有の看護技術を体験的に学ぶ。</p> <p>実務家教員として高齢者看護の実務経験のある教員が、高齢者及び病態の理解、高齢者アセスメント、高齢者看護技術の実際について、講義、技術のデモンストレーション、実践の指導にあたる。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢患者のアセスメントで、加齢性の心身変化を考慮して情報を分析できる</li> <li>2. 対象のからだ・こころ・くらし・かわり・生きがいを考慮した看護問題を抽出できる</li> <li>3. 事例患者の看護過程を通して、食事療法、皮膚障害、排尿障害に対する看護ケア計画を立案できる</li> <li>4. 事例患者の看護過程を通して、安楽を促す看護ケア計画を立案できる</li> <li>5. 事例患者の看護過程を通して、対象の身体可動性、心肺機能、感覚機能に応じた看護ケアの方法、目標を設定できる</li> <li>6. 事例患者の看護過程を通して、対象の認知機能、文化的背景を考慮した効果的なコミュニケーションを検討できる</li> <li>7. 事例患者の看護過程を通して、高齢者の意思決定や意思疎通を支える方法について検討できる</li> <li>8. 高齢者看護技術を修得することができる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	40	5	0	5	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			10	5		5	20	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)	20		30				50	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
加齢性の心身機能の変化を踏まえ、高齢者特有の健康障害や療養上のリスクを理解し、老年看護学的な種々の患者アセスメント方法を駆使し、対象を理解することができる。看護問題について対象の意向や環境に応じた看護目標の設定を検討することができる。対象の残存機能を活かせる看護方法のバリエーションを複数検討することができる。高齢者看護技術において、片麻痺患				基礎的な看護過程に、対象の加齢性の心身機能の変化や高齢者特有の健康障害や療養上のリスクが考慮されている。完全ではないが、老年看護学的な種々の患者アセスメント方法を活用し、対象の理解に努めている。看護目標や看護方法が一般的な内容にとどまり、対象の意向や環境が十分反映されていない。高齢者看護技術において、片麻痺患者の車椅子トイレ				

者の車椅子トイレ移乗、残尿測定、ABI測定、義歯洗浄、機械浴、患者安全 KYT を修得し、看護過程に活用できる。		移乗、残尿測定、ABI測定、義歯洗浄、機械浴、患者安全 KYT を実施したものの、看護過程への関連付けが十分でない。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1 老年看護過程の展開(溝部昌子) 肺がん・放射線化学療法/慢性腎不全・透析病態、標準治療、標準看護計画	配布資料 講義 演習	予習:看護過程、加齢性の心身変化 復習:老年看護過程アセスメントガイド2を活用しながら割り当て事例を読み込む	60
2	2 病態と看護問題、生活機能と健康管理方法(溝部昌子) 病態看護問題関連図 症状マネジメント、服薬管理 パーキンソン病治療薬・降圧薬	配布資料 講義 演習 *提出	予習:事例患者の病態、標準治療、標準看護計画についての学修と情報整理 復習:病態看護問題関連図、アセスメントパターン①	60
3	3 高齢者看護技術実習①(吉原悦子) 片麻痺患者の車椅子移乗、ABI測定 残尿測定 技術は、別日土曜日午前に実施予定	技術演習 *提出	予習:看護技術の目的、方法、手順の確認 復習:ワークシートを用いて技術演習の振り返りと考察を提出	60
4	4 高齢者看護技術実習②(溝部昌子) 義歯の洗浄、機械浴、KYT 患者安全 技術は、別日土曜日午前に実施予定	技術演習 *提出	予習:看護技術の目的、方法、手順の確認 復習:ワークシートを用いて技術演習の振り返りと考察を提出	60
5	5 食事療法と看護ケア(溝部昌子) 経静脈経腸栄養、栄養補助食品 イレウス、腎不全患者の食事療法	配布資料 講義 演習 *提出	予習:事例患者の栄養アセスメント 復習:栄養ケア計画の検討、アセスメントパターン②提出	60
6	6 患者の食を支える看護ケア(溝部昌子) 頭頸部がん患者の食事援助と口腔ケア 放射線治療・化学療法を支える食事援助	配布資料 講義 演習 *提出	予習:頭頸部がんの病態、放射線治療化学療法患者の口腔粘膜障害 復習:アセスメントパターン③提出	60
7	7 皮膚障害と看護ケア(溝部昌子) 放射線治療/化学療法と皮膚のケア IADとおむつ排泄、テープかぶれ 血流評価、フットケア、爪切り	配布資料 講義 演習 *提出	予習:治療に伴う皮膚障害、排泄と皮膚障害 復習:アセスメントパターン④提出	60
8	8 排尿障害と看護ケア(溝部昌子) 神経因性膀胱に対する排尿自立支援 残尿測定、自己導尿、腎瘻、排尿計画	配布資料 講義 演習 *提出	予習:排尿障害に対する看護ケア 復習:看護診断名リスト提出	60
9	9 看護における EBN の実践(溝部昌子) 看護診断、看護目標、看護方法の検討 エコーを用いた便秘のケア 褥瘡評価、体圧測定、除圧体位	配布資料 講義	予習:看護診断リスト 復習:看護診断、目標、方法を根拠に基づいて修正	60
10	10 グループ発表(溝部昌子) 病態看護問題関連図 パターン①~④	グループ発表 講義	予習:病態看護問題関連図作成、アセスメントパターン①~④ 復習:グループ討議の後、修正	60

11	11 活動と休息を促すケア(溝部昌子) 高齢者の苦痛の評価と緩和技術 安楽を促す看護ケア 胸水・腹水・呼吸困難・腹部膨満	配布資料 講義 演習 * 提出	予習: 苦痛の評価、安楽援助 の看護技術 復習: パターン⑤⑥提出	60
12	12 ころ、かかわり、暮らし、生きがいに働きかけるケ ア(吉原悦子) ナラティブに基づく患者の理解 患者及び家族との対話 スピリチュアリティ、ライフレビュー	配布資料 講義 演習 * 提出	予習: ナラティブ、対話、ライフ レビュー 復習: アセスメントパターン ⑦⑧⑨提出	60
13	13 高齢者に寄り添う看護ケア(吉原悦子) 高齢者の意思決定支援 脳圧亢進、高次脳機能障がいと看護ケア	配布資料 講義 演習 * 提出	予習: ACP、SDM 復習: アセスメントパターン ⑩⑪提出	60
14	14 高齢者看護過程の実際(溝部昌子他) 脳出血・開頭血腫除去術 深部静脈血栓症予防のための看護	配布資料 講義	予習: 脳出血、深部静脈血栓 症 復習: 病態、患者、看護のプレ ゼンテーション方法	60
15	15 看護計画発表(溝部昌子) グループ内発表	グループ発表 講義 * 提出	予習: 事例患者のプレゼンテ ーション、看護計画 復習: 看護計画を含むプレゼ ンテーションの提出	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Nice 看護学テキスト 老年看護学概論 改訂第3版 南江堂</li> <li>・Nice 看護学テキスト 老年看護学技術 改訂第3版 南江堂</li> </ul>			
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論, 医学書院</li> </ul>			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田律子ら編著:生活機能から見た老年看護過程,医学書院</li> <li>・老年看護過程アセスメントガイド</li> </ul>
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老年看護学演習では、高齢者の加齢性の心身変化と疾病や病態との関連を理解し、高齢者特有のアセスメント技術と看護技術を駆使して看護過程を展開するため、専門基礎科目、基礎看護学、成人看護学の知識・技術の応用が求められます。</li> </ul>
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 50%</li> <li>・提出物またはフォーム 15 回分 40%</li> <li>・発表 5%、参加態度 5%</li> </ul>